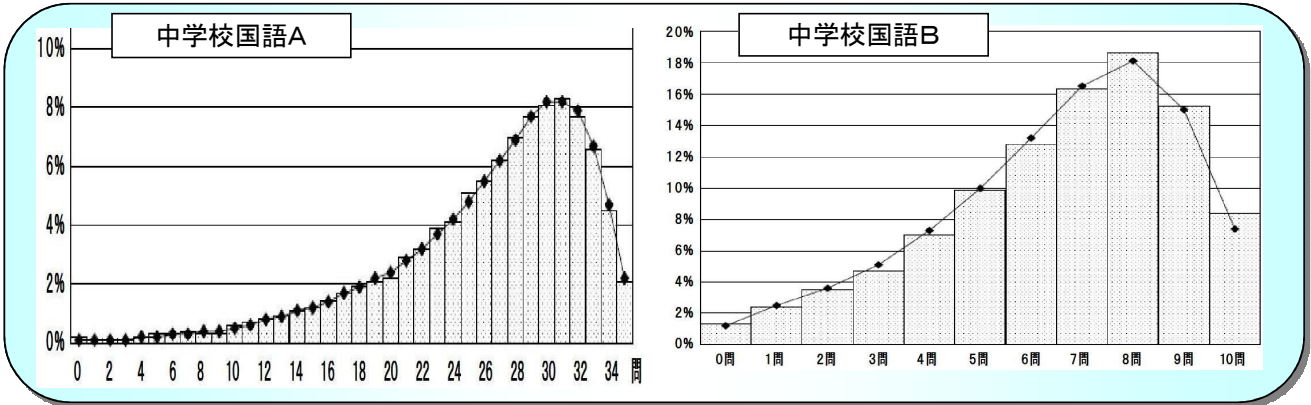


平成22年度 全国学力・学習状況調査  
 埼玉県全体の調査結果 中学校・国語

■埼玉県全体の正答数分布 ※棒グラフが埼玉県、折れ線グラフが全国の分布 横軸:正答数 縦軸:生徒の割合



■学習指導要領の領域・問題形式ごとの平均正答率(推計値)

単位は%

領域	年度	中学校国語A		中学校国語B	
		埼玉県平均	全国平均	埼玉県平均	全国平均
話すこと・聞くこと	H22	74.7	74.2	46.2	45.6
	H21	87.5	86.8		
	H20	81.0	80.1		
	H19	89.7	90.1	81.0	81.3
書くこと	H22	71.0	71.1	61.2	60.2
	H21	64.2	64.6	72.0	72.5
	H20	55.5	55.2	46.4	46.7
	H19	71.5	73.4	64.7	64.4
読むこと	H22	77.6	76.6	68.4	67.5
	H21	75.4	75.7	74.2	74.5
	H20	70.7	71.0	61.1	60.8
	H19	80.9	80.6	71.3	70.6
言語事項	H22	74.9	75.8		
	H21	74.9	76.0		
	H20	74.3	75.2	59.7	60.5
	H19	80.5	80.3	70.4	68.5

問題形式	年度	中学校国語A		中学校国語B	
		埼玉県平均	全国平均	埼玉県平均	全国平均
選択式	H22	71.4	71.2	76.3	75.5
	H21	76.1	76.0	71.0	70.2
	H20	71.5	71.3	70.9	70.3
	H19	83.7	84.2	80.2	79.3
短答式	H22	80.3	81.0	64.2	64.0
	H21	77.0	78.4	81.0	82.0
	H20	76.0	77.4		
	H19	79.6	79.3	63.7	63.5
記述式	H22			54.6	53.0
	H21			72.0	72.5
	H20			46.4	46.7
	H19	71.3	72.4	64.7	64.4

抽出調査であることを踏まえ、平成22年度の平均正答率は、すべて推計値で示している。

■中学校国語の状況 ◇…相当数の生徒ができています点 ◆…課題のある点 [ ]は出題番号を示す

話すこと・聞くこと

◇(A) 話合いの際に、目的に沿った話合いになる適切な質問を選ぶことや、話合いを効果的に展開させる発言の役割を理解することは相当数の生徒ができています。[A7一・二]

◆(A) 表現の仕方に注意して説得力のある話をすることに課題がある。[A3一]

書くこと

◇(A)(B) 修飾語に合わせて述語の部分を適切に書き直すことや、文章から必要な情報を集め資料に現れている工夫を自分の表現に役立てて書くことは相当数の生徒ができています。[A4一、B2二]

◆(A) 与えられた条件に応じ、言語に関する知識などを適切に用いて分かりやすい文章に書き直すことに課題がある。[A4二、A9二]

読むこと

◇(A) 詩とその解説文の中で使われている語句の意味を文脈の中で理解することは相当数の生徒ができています。[A6二]

◇(B) 文学的な文章の中で使われている語句の意味を文脈の中で理解することは相当数の生徒ができています。[B3一]

◆(A) 論理の展開の仕方をとらえて内容を理解することに課題がある。[A8一]

◆(B) 比喩的な表現で書かれた内容について理解することに課題がある。[B3二]

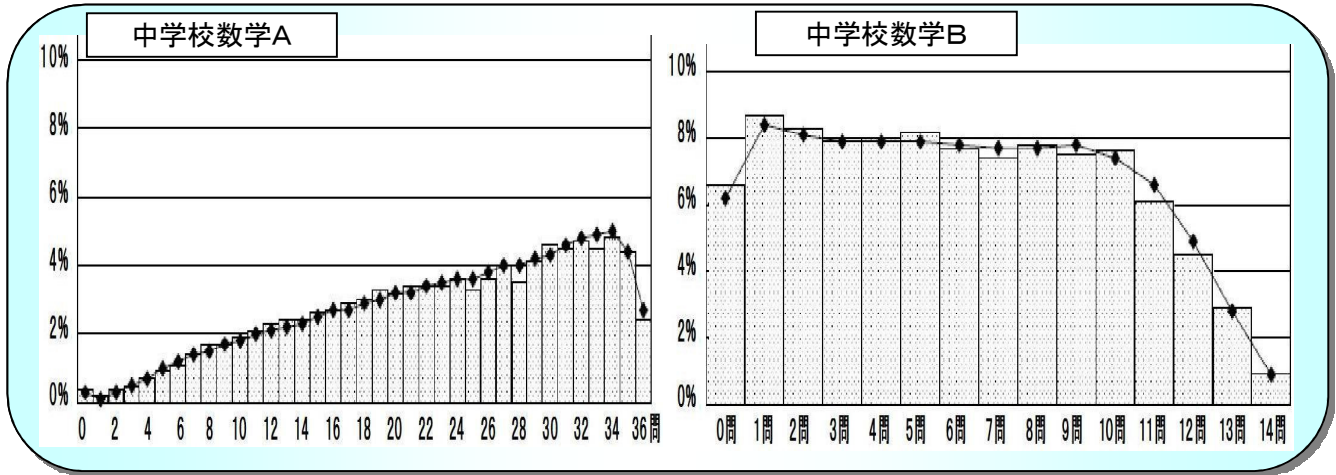
言語事項

◇(A) 文脈に即して漢字を正しく読むこと、漢字の成り立ち(部首の持つ意味)を理解することは相当数の生徒ができています。[A10二・五]

◆(A) 漢字の楷書と行書との違いを理解することに課題がある。[A10七]

平成22年度 全国学力・学習状況調査  
 埼玉県全体の調査結果 中学校・数学

■埼玉県全体の正答数分布 ※棒グラフが埼玉県、折れ線グラフが全国の分布 横軸：正答数 縦軸：生徒の割合



■学習指導要領の領域・問題形式ごとの平均正答率(推計値)

単位は%

領域	年度	中学校数学A		中学校数学B	
		埼玉県平均	全国平均	埼玉県平均	全国平均
数と式	H22	74.4	75.2	42.0	43.2
	H21	65.9	67.3	60.2	61.4
	H20	66.7	68.0	50.8	54.2
	H19	72.9	74.4	47.5	48.9
図形	H22	64.1	64.3	40.0	40.2
	H21	64.6	64.6	57.0	57.5
	H20	60.8	62.7	57.7	57.6
	H19	74.1	75.5	53.9	53.1
数量関係	H22	52.8	54.3	44.7	45.5
	H21	54.4	56.2	52.5	54.1
	H20	55.8	58.6	43.4	44.7
	H19	64.3	65.9	67.3	67.9

問題形式	年度	中学校数学A		中学校数学B	
		埼玉県平均	全国平均	埼玉県平均	全国平均
選択式	H22	61.3	61.9	51.8	51.9
	H21	59.9	60.5	60.9	61.6
	H20	60.6	61.8	54.6	55.2
	H19	70.0	70.9	64.2	63.9
短答式	H22	66.2	67.3	53.2	53.7
	H21	64.4	66.1	68.7	70.3
	H20	61.5	64.1	60.9	62.5
	H19	70.8	73.0	73.8	74.2
記述式	H22			32.4	33.4
	H21			39.5	40.6
	H20			33.4	35.3
	H19			44.2	45.1

抽出調査であることを踏まえ、平成22年度の平均正答率は、すべて推計値で示している。

■中学校数学の状況 ◇…相当数の生徒ができています ◆…課題のある点 [ ]は出題番号を示す

数と式

◇(A) 実生活の場面に結びついた正の数と負の数の意味を相当数の生徒が理解できている。[A1 (3)]

◆(B) 筋道立てて考え、事柄が一般的に成り立つ理由を説明することに課題がある。[B2 (2)]

図形

◇(A) 垂線の作図の手順の理解は相当数の生徒ができています。[A4 (2)]

◆(A) 証明の意義を理解することに課題がある。[A8]

数量関係

◇(A) 比例の関係を表す表の特徴をとらえることは、相当数の生徒ができています。[A9 (1)]

◆(A) 具体的な事象における一次関数の関係を式で表すことに課題がある。[A1 1(3)]

◆(B) 問題解決のための構想を立て実践し、その結果を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。

[B1 (3)]

◆(B) 事象を数学的に解釈し、成り立つ事柄の特徴を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。

[B3 (2)]